

# 経営者懇話会（情報交換会）

日 時：令和5年9月27日（水）午後6時30～8時10分

場 所：たかつガーデン「鈴蘭」

参加者：11名（会員のみ参加）

参加企業：アカツキ工業(株)、朝田金属工業(株)、飯田金属工業(株)、(株)池崎鉄工所、カネエム工業(株)、(株)関西発條製作所、(株)関西プレック、平金物(株)、(株)ニシムラ、濱田プレス工藝(株)、(株)ハヤシ（11社 五十音順）

目 的：コロナは一旦落ち着いてはおりますが、プレス業界の最近の状況として、原材料や電気料金の高騰、半導体不足、人材の確保、事業継承問題など経営者の悩み事は絶えません。同業他社の皆さんはどのようにやり繰りをされておられるのか、何か良い施策やアイデアがあれば取り入れたい、など経営者同士の情報交換をして頂く目的で開催致しました。

総務・経営委員会の島田真輔委員長に司会進行をお願いして経営者懇話会を開始いたしました。

今回ご参加頂いた会員企業様は多種多様、プレス製造業でも取引先の業界が違う企業やプレスではなく板金の製造業、また製造業ではない賛助会員様も今回ご参加頂き、広く各業界のお話をお聞きすることが出来ました。

まずご参加者には自社の近況や課題をお話し頂きました。取引先は多種多様です。自動車、建築関連、住宅設備、LED、ソーラー、航空機、アパレル部品などです。収益状況も各社で違いますが、総じてコロナで落ちた収益は戻りつつあるがコロナ以前に比べるとまだ戻っていない（9割ほど）というお話でした。また取引先からの受注に頼るのではなく自社製品、自社ブランドを持ち、B to B から B to C を目指しているというお話もありました。自動車関連では半導体など部品不足でラインが止まることも多く、メーカーは車種やオプション品を限定して効率の良い生産をしており、円安の効果もあり大きな利益を上げているそうです。特にハイブリッド車はトヨタが大変好調で長い納車待ちが発生しているそうです。一方EV車ですが、各メーカーが力を入れて2030年までにという発表もあるが、現時点で金型もなくあと7年では実現しないであろうという意見でした。

製造原価の高騰については原材料とエネルギーの値上がり分はなんとか認めてもらっているが、製造コストや副資材などは認めてもらえず価格交渉が難航しているようです。

人材の確保については相変わらず各社とも大変苦勞をされているようです。新卒の採用は難しいという声が多く、派遣会社から補強するが長続きしない、外国人に頼らざるを得ないなど、ベトナム人が多いようですが最近ではネパール人を採用したというお話もありました。



経営者懇話会の様子

事業承継のお話では、すでに後継者が会社に居る方が多いように感じましたが、そうでない方も事情はそれぞれようです。株や資産を引き継ぐことも大事だが「経営」を引き継ぐことが最も大事であるというご意見でした。

経営者、経営幹部の方の悩みは尽きることがありませんが、予定の時間となり懇話会は終了しましたが、このあと近隣で懇親会（会食）を行い、情報交換、意見交換は続けました。

定期的に経営者懇話会を開催しておりますので、今回ご参加でない方も、他社の施策は大変参考になると思いますので、是非次回にご参加下さい。